

セアカゴケグモ など ゴケグモ の仲間について

ハイイロゴケグモ

平成7年に国内でセアカゴケグモが発見されて以来、ハイイロゴケグモ、クロゴケグモなどのゴケグモの仲間が日本各地で発見されています。

もし、発見された場合には、次のことに注意してください。

このクモは、少量の毒をもっており、幼い子どもや心臓の弱い人などが咬まれると危険な場合もありますが、もともと攻撃性がなく、素手で触らないかぎり咬まれることはありません。

見つけたら素手でさわらないで驚かすと死んだまねをすることがあるので注意



セアカゴケグモ(メス) 背側



セアカゴケグモ(メス) 腹側



ハイイロゴケグモ(メス) 背側



ハイイロゴケグモ(メス) 腹側



卵のう(実物大)

<ゴケグモがいそうな場所>

- 側溝、排水溝、マンホールのフタの裏など
- 庭や花壇のコンクリートブロックのすきま
- フラワーポットやプランター、植木鉢の下
- 墓石のすきま
- 自動販売機、クーラー室外機の裏側など

ゴケグモの特徴

- 大きさ (脚を含まない)
メス…約7~10mm オス…約4mm
- 色・背中
[セアカゴケグモ] [ハイイロゴケグモ]
メス…全体的に黒色 全体的に黒、灰色、茶色
縦に赤色の模様 灰色~黒色のまだら模様
オス…全体的に灰白色
縦に白色の模様
- 腹 赤い砂時計型の模様
- 巣 直径1~1.5cmで乳白色の卵のう(卵が入っているふくろ)がある。(ハイイロゴケグモの卵のうには、金平糖のような、いぼがある。)

生息場所

網を張って住みつき、繁殖するには次の条件が必要だと言われています。

- ① 日当たりがよく、暖かいところ
- ② 昆虫や小動物などの餌が豊富にあるところ
- ③ 巣を張る適当なすき間があるところ

咬まれた時の症状と処置

- 咬まれた直後は、軽い痛みを感じる程度ですが、しだいに痛みが増し、咬まれた腕や足に広がります。
- 咬まれても、軽い症状で治まることがほとんどですが、万一周に咬まれたら、水で洗うなど清潔にし、できるだけ早く病院に行って治療を受けることが大切です。
(その際、咬まれたクモを殺して持参してください。)

防除の方法

- 生息しそうな場所に普段から注意し、クモの巣があれば、棒切れなどで払って、クモが巣を作らないようにしておく。
- 見つけたら、踏みつぶすか、家庭用の殺虫剤をふきかける。
(作業を行う人の安全性や周辺的环境に応じて適切な方法で行いましょう。)

さらに詳しく知りたい方は、こちらへ(ホームページで御覧になれます。)

京都府保健環境研究所ホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/hokanken/>

厚生労働省ホームページ <http://mhlw.go.jp/>

(平成8年「セアカゴケグモ等対策専門家会議報告書」)

大阪府、横浜市などの自治体のホームページでも情報提供を行っています。

ゴケグモの仲間を見つけた場合や相談は、京都府保健所へ

京都府保健福祉部生活衛生課

京都市上京区下立売通新町西入数ノ内町

TEL: 075 - 414 - 4757

FAX: 075 - 414 - 4780